

令和 8 年度第 4 回山鹿創生塾

令和 8 年度山鹿創生塾では「ライター体験」と題して、山鹿市の中学生高校生を対象としたワークショップを開催しています。

8 月 19 日（水）に、第 4 回目で今年度最後の回となる山鹿創生塾を開催しました。第 4 回は、山鹿市内の学生 22 名（中学生 3 名、高校生 19 名）の参加があり、第 3 回で取材した内容を元に、Formosa 九州※に掲載する記事を作成し、発表しました。

「スポット」「グルメ」「歴史」「イベントまつり体験」「お土産」のテーマごとに 5 グループ（5～6 人組）に分かれ、模造紙を誌面に見立てて、取材の際に撮った写真を使って記事をまとめました。作成した記事はこだわりポイントと合わせて全体発表を行い、ゲストの Formosa 編集部 舞永さんや高野さん、第 2 回で講演いただいた陳さんに講評をいただきました。

山鹿創生塾全体を通して、「山鹿に住んでいるが知らないことが多いことに気付いた」「台湾の方の話を直接聞くことができ普段できない経験ができた」「学校や学年の違う人と協力して取り組めてよかった」「記事を書くときは情報の優先順位をつけて一番伝えたいことを書くことを学べた」といった感想が寄せられ、充実した山鹿創生塾となりました。

※「Formosa（フォルモサ）九州」とは、熊本や九州に住む台湾人の方向けに 2024 年に創刊した生活情報誌で、観光やグルメなどを収載し、活字は全て台湾で使われている中国語（繁体字）。隔月で 3 万部を発行し、無料配布している。

【作成した記事と講評】

スポット班 『山鹿灯籠民芸館』

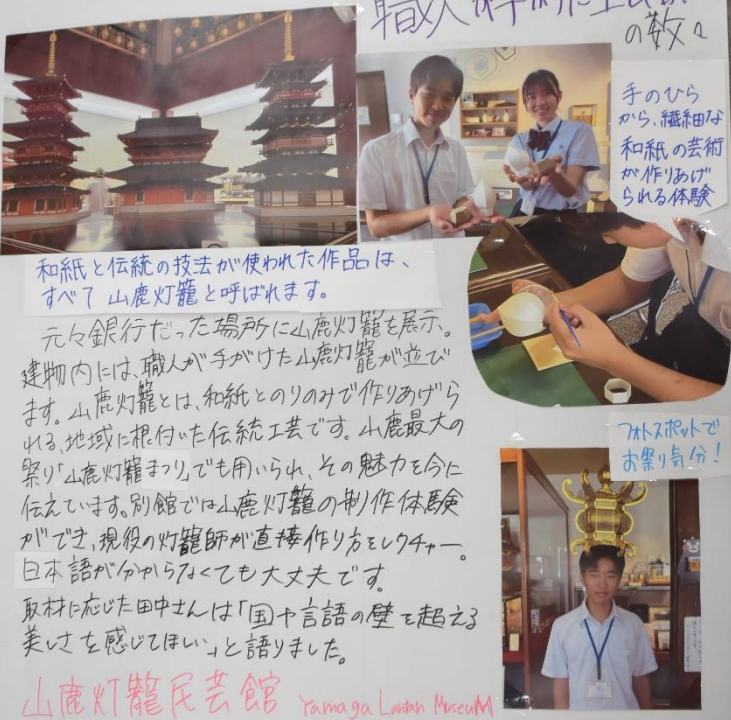
【こだわりや気を付けたこと】

- ・取材で得た情報から必要や情報と伝えたい情報を選んで分かりやすくまとめたこと
- ・グループ内で役割分担して、取材し記事を作成した

【講評】

- ・台湾の人が好みそうな「職人」「工芸品」「元銀行」といったキーワードの使い方がいい
- ・見るだけでなく体験情報があることで行ってみたいくなる
- ・「日本語ができなくて大丈夫」と記事の中に、台湾の方を意識したぜひ来てほしいという想いを感じる
- ・人が入った写真を使っていることで親しみがでている
- ・記事の中に取材先の職人の方のコメントを載せたことがいい
- ・台湾の方を意識した記事のまとめかた

山鹿灯籠の魅力を今に伝える
職人が手がけた工芸品の数々



和紙と伝統の技法が使われた作品は、すべて山鹿灯籠と呼ばれます。

元々銀行だった場所に山鹿灯籠を展示。建物内には、職人が手がけた山鹿灯籠が並びます。山鹿灯籠とは、和紙とりのみで作りあげられる、地域に根付いた伝統工芸です。山鹿最大の祭り「山鹿灯籠まつり」でも用いられ、その魅力を今に伝えています。別館では山鹿灯籠の制作体験ができて、現役の灯籠師が直接作り方をレクチャー。日本語が分からなくても大丈夫です。

取材に応じた田中さんは「国や言語の壁を越える美しさを感じてほしい」と語りました。

山鹿灯籠民芸館 Yamaga Lantern Museum

住所/〒261-0501 山鹿市山鹿1606-2
電話/0968 43 1152
営業時間/AM 9:00 ~ PM 6:00
定休日/年末12/29 ~ 1/1
駐車場/なし
支払い方法/現金のみ

手のひらから、繊細な和紙の芸術が作りあげられる体験

アトスボットでお祭り気分!

山鹿市山鹿1606-2

グルメ班 『茶房さくらさくら』

【こだわりや気を付けたこと】

- ・ 写真を撮る際に、場所の雰囲気が分かるようにいろいろな角度から写真を撮って、料理がおいしくみえるように工夫した
- ・ 文字と写真のバランスや配置にこだわった
- ・ 取材した内容の優先順位を考えて原稿を書いた
- ・ 台湾の方の視点を意識した

【講評】

- ・ 写真がたくさんありどんな雰囲気の場所なのか分かりやすい
- ・ 文字や写真の配置にこだわりを感じた
- ・ 食べるだけでなく、持ち帰り情報（お土産）もあって行ってみたいと感じる記事だった
- ・ 台湾の方を意識したのだろうなと感じられる記事
- ・ 要素の多い取材先情報から、うまく情報をセレクトして記事にまとめている
- ・ 味噌汁の写真が目立つようにメリハリのある記事

受け継がれる山鹿の伝統の味を、
今日の食卓へ。

おにぎり (こだわりの豆腐付) 450円



【メニュー】・特選古式みそ 220円(上)
・特選ハチミツみそ 260円(中)
・特選合挽みそ 190円(下)

1階で見購入できる、みそやしょうゆの詰め合わせセット。

老舗のみそ、しょうゆ屋「卑弥呼醬院」の2階にある自家製みそを使ったおみそ汁が食べられる食事処です。店内は、着物や人形など、日本の伝統文化に彩られた趣のある空間です。地元の食材をふんだんに使った「7種類」のみそが揃い、自分好みの味を見つけることができます。気に入ったみそは、1階で購入可能です。食を通して、山鹿の魅力をじっくり味わえる場所です。

茶房さくらさくら



住所: 熊本県山鹿市鹿本町米民1586
電話番号: 0968-46-2123
営業時間: 9:00~19:30
定休日: 日曜日(茶房は不定休)
駐車場: 2~3台
支払方法: 現金



歴史班 『熊本県立装飾古墳館』

【こだわりや気を付けたこと】

- ・写真の大きさや形、配置を工夫した
- ・吹き出しをいれて、記事に興味をもってもらうように意識した

【講評】

- ・タイムスリップというタイトルは、台湾の人も興味をもつ見出し
- ・予約情報などもしっかりおさえている
- ・台湾の人にも有名な建築家「安藤忠雄さん」の名前をポップアップにして分かりやすくしているのが行くきっかけになる
- ・短い文章の中に、いろいろなエッセンスが入っていて、よく取材してある。
- ・取材した人がモデルとして写真に登場しているので、その場所の雰囲気やサイズ感が分かりやすい
- ・発表の際のチームワークがいい



18世紀前にタイムスリップ! 山底で感じる日本の歴史

日本では3世紀中頃から7世紀中頃にかけて、およそ16万基以上の古墳が全国各地に築かれました。しかし、文様や絵で飾られた装飾古墳の数はわずか849基にすぎません。熊本県はそのうちの約25%を占め装飾古墳の数が全国一を誇ります。

日には決まっていますが、予約すればこの時代を体験できるイベントも開かれています。右の写真は勾玉です。他にも当時のアクセサリーやクッキーを作ることができます。

熊本県立装飾古墳館は1992年に開館されました。ここでしか見れない様々な展示物があります。予約をすれば、学芸員さんの説明を聞きながら展示を見ることができます!

熊本県立装飾古墳館 (Kumamoto Kenritsu Soshokukofun Kan)
住所 / 熊本県山鹿市鹿央町岩原30番5
電話 / 0968-36-2151
営業時間 / 9:30~17:15 (入館は16:45まで)
定休日 / 月曜日・年末年始

牛久保古墳の入り口。予約時には、学芸員のガイドウミで車いすに乗ると普段は入れないスペースに案内してもらえます。

安藤忠雄 設計



イベントまつり体験班 『アンティーク着物レンタルの柏屋』

【こだわりや気を付けたこと】

- ・お店が古民家だったので、雰囲気分かるような写真をたくさん撮って記事に使用した
- ・キャプションに合うように写真の構成を考えた

【講評】

- ・タイトルに「アンティーク」のキーワードが入っていることで台湾の人の興味を惹く
- ・最近では赤と黒の着物が人気という情報やヘアメイクに30分といった補足情報が記事を見る人を考えてある
- ・文章が軽やかで呼びかける感じがよい
- ・写真がたくさんあり、どんな場所が分かりやすい
- ・記事に入りきらない情報をキャプションとして紹介していて効果的に使われている
- ・古民家は台湾の人にも好きなので、取材先の選択がいい
- ・着物をレンタルするだけでなくそのあとに八千代座に行くという、次の行動を示す、楽しみ方を提案しているアイデアがいい

アンティーク着物で八千代座へ!

山鹿の町をもっと楽しんでみませんか?
住宅地に佇む古民家で行われている着物レンタル。アンティークな着物の中からあなたに合う一着を選べます。
ヘアメイクから着付けまで、全てアロの方がやってくれます。
老若男女 どんな方でも予約できます。
八千代座は山鹿にある重要文化財
日本の古き良き歴史を感じられます。

アンティーク着物
レンタルの柏屋
住所/〒861-0112
熊本県山鹿市山鹿 1469-4
電話番号/050 3707 1515
営業時間/10:00~17:00
定休日/なし 駐車場/4台分あります(無料)
支払い方法/現金・QRコード決済(PayPay)・クレジットカード
料金/5000円(3時間)(延長1時間ごとに+1000円)
※詳しい料金は直接お問い合わせください。詳しくはQR
予約方法/InstagramのDM 案件 公式予約フォームから

様々な着物の中から貴方に合う
1 着物を選べます。今年は赤や黒などの色やハッキリ
していてカッコイイ柄が人気のようです。
2 着物レンタルだけでなく、ヘアセットやメイクも可能。
お花やリボン、ヘアクラウン、髪飾りがずらりとあり好きなものから選べます。30分程度で
ヘアメイクやメイクが可能です。
3 モデルさんからはお姫さまになった気分になった
とのこと。旅行や記念日に特別な思い出
を作りませんか?!

お土産班 『山鹿栗太郎+栗商品』

【こだわりや気を付けたこと】

- ・お店の人に質問をたくさんして、必要な情報を集めたこと
- ・集めた情報を分かりやすく短くを意識して原稿を書いた
- ・写真の角度や配置

【講評】

- ・商品の写真が、サイズ感や形が分かりやすく撮られている
- ・“もっちり”や“さっくり”といった食感や栗が丸ごと入っているとといった商品を食べたからこそわかる詳細な情報があって、想像しやすく購買意欲をそそる
- ・なぜ栗のお土産なのかを最初に説明していることがいい
- ・情報量が多くていい
- ・手にもったり、商品の断面だったり写真の撮り方が工夫されている
- ・いろいろな情報があることで、読者の選択肢が広がる

